## 24-I期募集用

## 記入例

様式1の5b

課題番号(①23H-999)

	線発生装置	「衝松之」(由)	Tab.						
		[重粒子線柱	来」		(2)	Ain	5年	7 F	7 11
放射線安全課長	殿				(2)	力和	54	1 A	7 11
	下記の内容により、放射線	泉発生装置を使	囲したい	めて	承認	飢います。			
		au 857 / h br - b	. =	tor	wa		na is reprint	masu.	
	3	課題代表者			郡 行		3770世里0分	974	
			14	111	AVI A	704			
	4	所内対応者	所 所	属	物理	C学部	(内線	68	<b>(X</b> )
			氏	名	羽井	真久			
使用目的等			3	<b>※以</b> 7	、該	当しない	箇所は	科線を	引くこと
果題名) 重粒子線を用	いて各種解析を行いその効果を	確認する	(5)	)					
2. C. Ne 3. 測定で	ットして、各種制定態を設置す 、Fe ビームを最大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが領定に最適かその	Osec 照射する 新し分布を調べ	3 T	)					
2. C. Ne 3. 測定で 4. どの状	、Fe ビームを最大粒子数で 3 きたデータをコンピュータで解	Osec 照射する 新し分布を調べ 効果を確認する			数射化	2予想核種	汲び予想	数量	
2. C. Ne 3. 測定で 4. どの状	、Fe ビームを最大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが領定に最適かその	Osec 照射する 析し分布を調べ 効果を確認する			数射化	D予想核種 数量:	及び予想		Bq
2. C. Ne 3. 測定で 4. どの状 使用室名 中xivi*-照射室 物理・沈用照射室	、Fe ビームを最大粒子数で 30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが原定に最適かその 被照射物 各種原定機器 (GM、Ge	Osec 照射する 新し分布を調べ 効果を確認する a、Nai)	核種: 核種:				及び予想		Bq
2 C. Ne 3. 测定で 4. どの炊 使用室名 中 x x x x ** 「	、Fe ビームを最大粒子数で 30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが原定に最適かその 被照射物 各種原定機器 (GM、Ge	Osec 照射する 析し分布を調べ 効果を確認する	核種: 核種: 核種:	1		数量: 数量: 数量:	及び予想		Bq Bq
2 C. Ne 3. 测定で 4. どの炊 使用室名 中工科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ト Fe ビームを機大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが規定に概適かその 被照射物 各種測定機器(GM、Ge	Osec 照射する 桁 (分布を調べ 効果を確認する a、Nai)	核種: 核種: 核種: 核種:	TO TO	)	数量: 数量: 数量: 数量:	及び予想		Bq
2 C、Ne 3、 瀬中で 4、 どの状 ・ 使用窓名 ・ 中立が、 無射窓 ・ 物理・ が用風社会 ・ 生物原射窓 ・ 生物原射窓 ・ 生物原射窓 ・ 2 次で・ 理解・ 温・ でから ・ 連邦・ でんから ・ できる ・	、Fe ビームを最大粒子数で 30 きたデータをコンピュータで解 態のビームが原定に最適かその 被照射物 各種原定機器 (GM、Ge	Desc 照射する 新し分布を調べ 効果を確認する A Nai) の 予想核種及び 等ち出しの有無	核種: 核種: 核種: 核種:	が (10 を記) <b>対物)</b> 場合	) Alt<	数量: 数量: 数量: 数量: 数量:	を 登理区域		Bq Bq Bq
2 C、Ne 3、瀬柱で 4. どの状 4. どの状 中 使用 ※名 中 は ※ ・	ト Fe ビームを機大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 棚のビームが限定に概違かその 被照射物 各種類定機器(GM、Ge ・ 記入し、「被照射物」、「放射化 込み又は管理区域外への事	Osec 照射する 析し分布を調べ 効果を確認する a、Nai) の予想核種及び 等ち出しの有第	核種: 核種: 核種: 核種: 核種: 核種:	が を記 対物) 場合	) 人して<	数量: 数量: 数量: 数量: ださい。	管理区域	外~持:	Bq Bq Bq
2 C、Ne 3、瀬東で 4. どの状 使用家名 中立は、一原料家 物理・ 乃用料室 物理・ 乃用料理 を を が理・ の持ち 持ち込みの有無 持ち出しの有無	ト Fe ビームを機大和子数で30 きたデータをコンピュータで解 膝のビームが閉蛇に悪適かその 被照射物 各種態定機器(GM、Go 配入し、「被照射物」、「放射化 込み又は管理区域外への車 管理区域外に保管	Osec照射する 新し分布を調べ が果を確認する A Nai) の予想軟種及び 等も出しの有第	核種: 核種: 核種: 核種: 核種: 存動数量」	が を記 を記 が を記 が する を記 が する で 廃 が か か か か か か か か か か か か か か で 廃 か か か か	) 人して<	数量: 数量: 数量: 数量: ださい。	管理区域 D場合、	外~持:	Bq Bq Bq bd ら出し 総細を記入)
2 C、Ne 3. 瀬はで 4. どの炊 使用命名 中はが、無射館 物理では無風は窓 ・生物でが無風は窓 ・生物でが無風は窓 ・生物でがある ・ はいがいる ・ はいが	ト Fe ビームを機大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 酸のビームが規定に胰速かその 接限射物 各種態定機器(GM. Go 記入し、「被照射物」、「放射化 込み又は管理区域外への存 管理区域均に保管 (室名、保管期間等を記	Osec照射する 新し分布を調べ が果を確認する A Nai) の予想軟種及び 等も出しの有第	核種: 核種: 核種: 核種: 核種: 核種: (被照) 有りの 管理区域が (室名等を	が を記 を記 が を記 が する を記 が する で 廃 が か か か か か か か か か か か か か か で 廃 か か か か	) 人して<	数量: 数量: 数量: 数量: がある: ださい。	管理区域 D場合、	外へ持ち	Bq Bq Bq bd ら出し 総細を記入)
2 C. Ne 3. 測定で 4. どの炊 使用率名 中立材 照射室 中立材 照射室 かって かい 一般 日本 か 1 で かい 一般 日本 かい 一番 1 回 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	ト Fe ビームを機大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 酸のビームが規定に胰速かその 接限射物 各種態定機器(GM. Go 記入し、「被照射物」、「放射化 込み又は管理区域外への存 管理区域均に保管 (室名、保管期間等を記	Osec 照射する 新し分布を提べ 効果を確認する a、Nal) の予想域種及び ゆり の予想域種及び かり の予想域種及び かり の予想域種及び	核種: 核種: 核種: 核種: 核種: 核種: (被照) 有りの 管理区域が (室名等を	が を記 を記 が を記 が する を記 が する で 廃 が か か か か か か か か か か か か か か で 廃 か か か か	) 人して<	数量: 数量: 数量: 数量: がある: ださい。	管理区域 D場合、	外へ持ち	Bq Bq Bq bd ら出し 総細を記入)
2 C、Ne 3、 瀬中で 4. どの状 使用 家名 中 は が、 一	ト Fe ビームを機大粒子数で30 きたデータをコンピュータで解 酸のビームが規定に胰速かその 接限射物 各種態定機器(GM. Go 記入し、「被照射物」、「放射化 込み又は管理区域外への存 管理区域均に保管 (室名、保管期間等を記	Osec照射する 新し分布を調べ が果を確認する A Nai) の予想軟種及び 等も出しの有第	核種: 核種: 核種: 核種: 核種: 核種: (被照) 有りの 管理区域が (室名等を	を記 (1)	) 人して<	数量: 数量: 数量: 数量: がある: ださい。	管理区域 D場合、	外へ持ち	Bq Bq Bq bd ら出し 総細を記入)

	項目	記入方法
1	課題番号	課題番号を記入
2	日付	使用計画書の <b>提出日</b> を記入
3	課題代表者	所属(○○大学△△学部××教室等)及び <b>氏名を記載</b>
		量研機構千葉地区側(以下、量研千葉)での受入れ窓口となって
4	所内対応者	いる職員の所属、氏名を記入する(但し、量研千葉担当者が同
		職員である場合は「同上」とする)
(5)	課題名	研究課題名を記入
6	使用目的	課題の目的を簡潔に記入
(7)	使用内容	実験作業内容を分かりやすく(専門用語や略記号等には注釈を
	使用的谷	付ける)記入。必要に応じて別紙に記入し添付すること
8	使用室名	実験で使用する照射室名に○を付ける
	被照射物	【被照射物】の場合、 <b>試料の素材及び大きさ</b> を出来る限り詳し
9	(ターゲット)	く記述する。
	(2 221)	【被照射動物】の場合、 <b>動物名及び匹数</b> を記入する。
(10)	放射化の予想核種	被照射物の予想される生成物の核種と数量を出来る限り記入
40	及び予想数量	する。必要に応じて別紙に記入し添付する
(II)	持ち込みの有無	管理区域への被照射物の持ち込みの有無について該当箇所を
11)	いりだがの日本	○で囲み、持ち込み有の場合は内容を具体的に記入
		管理区域からの被照射物の持出しの有無について該当箇所を
12	持ち出しの有無	○で囲み、持ち出し有の場合は内容を具体的に記入(⑬⑭も参
		照する)
(13)	運搬先	運搬先を記入。量研千葉内の場合は、研究棟名及び室名まで記
10	(全)似/[[	入
14)	運搬の方法	運搬方法を記入。業者委託の場合は業者名を記入
15	廃棄物の有無	放射性廃棄物の有無について該当箇所を○で囲む
16	廃棄物の内容	放射性廃棄物区分の該当箇所を○で囲み内容を具体的に記入
		『新規』とは、以前の使用計画書とエネルギーアップ、イオン
17)	継続・新規	種の変更、作業内容等が異なる場合。『継続』とは、『新規』に
		該当せず以前に使用計画書を提出している場合。

【注】提出日(②)及び継続・新規の別(⑪)の未記載が非常に多いので、必ず記載してください。

## 2 4 - I 期募集用

(松種	中球件"-	5mm	エネルギ	生物照射室		2次7~無射室
	t°-A照射室					
Не	6		100-180-230	150		100-180-230
С	6	100 180	230-290-350 400 430	135 290 350 400	100 18	0 230 290 350 400 430
N	6	100 180	230 290 350 400 430	6	100 18	0 230 290 350 400 430
0	6	100 180	230-290-350 400 430		100 18	0 230-290-350 400 430
Ne	6	100 180 230	299-350 400 430 600	230 400	100 180 230	290 350 400 430 600
Si	6	100 180 230 2	90 350 400 430 600 800	490	100 180 230 2	290 350 400 430 600 8
Ar	6		290-400-650	500		290-400-650
Fe	6		-500	<b>⊚</b>		500
【粒子数】		・数を、○で囲む 中立ネメギー ゙ーム照射室	粒子支 物理·外用照射		勿照射室	2次亡-顯射室
	t	中1444*-	粒子姜	室 生物	<b>物限射室</b> 2×10 <sup>10</sup>	2次で - 編射密
ⅆ⁄種	t	中以44°-	粒子类物理·光果服射	<b>室</b> 生物		
イオン種 He	t	中x补4°- *-4.照射室 2.0×10 <sup>12</sup>	粒子麦 物理·州用照射	至 生物	2×10 <sup>10</sup>	4.0×10 <sup>7</sup>
化種 He C	E .	中x444°- '-4照射室 2. 0×10 <sup>12</sup> 1. 0×10 <sup>11</sup>	粒子表 物理· <b>沙</b> 果服射 1.2×10 <sup>2</sup> 1.8×10 <sup>2</sup>	宝 生素 1.:	2×10 <sup>10</sup> 0×10 <sup>9</sup>	6.0×10°
イル種 He C N	t	中xルギー '-ム照射室 2.0×10 <sup>12</sup> 1.0×10 <sup>11</sup> 1.0×10 <sup>11</sup>	粒十數 物理·物用照射 T.2×40° T.8×40°	室 生x 生x 1 2 1. 1.	2×10 <sup>10</sup> 0×10 <sup>9</sup> 7×10 <sup>9</sup>	5.0×10°
化種 He C N	:	中xxxx**- "-1.照射室 2. 0×10 <sup>12</sup> 1. 0×10 <sup>11</sup> 1. 0×10 <sup>11</sup> 1. 0×10 <sup>11</sup>	粒子表 物理: 79.41服射 1.72×10° 1.8×40° 1.79×10°	室 生材 1 C.	2×10 <sup>10</sup> 0×10 <sup>9</sup> 7×10 <sup>9</sup> 2×10 <sup>9</sup>	\$.0×10° 6.0×10° 5.0×10°
休/種 He C N O	:	中以4-7- "-4照射室 2.0×10 <sup>12</sup> 1.0×10 <sup>11</sup> 1.0×10 <sup>11</sup> 1.0×10 <sup>11</sup> 1.0×10 <sup>11</sup>	粒子費 物理·粉果照射 T:2×40° T:8×40° T:1×40° T:8×40°	室 生 1.: 2.2 1. 1. (8.8 4.	2×10 <sup>90</sup> 0×10 <sup>9</sup> 7×10 <sup>9</sup> 2×10 <sup>9</sup> 5×10 <sup>8</sup>	2.0×10° 2.0×10° 2.0×10° 3.7×10°
He C N O Ne Si		中xルホーー  'ーム照射室 2.0×10 <sup>22</sup> 1.0×10 <sup>21</sup> 1.0×10 <sup>21</sup> 1.0×10 <sup>21</sup> 1.0×10 <sup>21</sup> 1.0×10 <sup>21</sup> 1.0×10 <sup>21</sup>	粒子数 物理 - 秋用吸射 下: 2×40° 下: 5×40° 下: 5×40° 不: 5×40°	室 生 1.: 2. 1. 1. 4. 2.	2×10 <sup>90</sup> 0×10 <sup>9</sup> 7×10 <sup>9</sup> 2×10 <sup>9</sup> 4×10 <sup>8</sup>	2.0×10, 2.0×10, 2.0×10, 2.0×10,

Ī		項目	記入方法
Ī	18	エネルギー	使用するイオン種及び該当する最大エネルギーを○で囲む
Ī	19	粒子数	使用するイオン種に該当する粒子数を○で囲む。表内の粒
	(19)	松丁奴	子数は使用するイオン種に対する最大値で記載

※実験で使用したターゲット(被照射物)を管理区域から持ち出す場合は、持出し時に重粒子線棟安全管理室(6655)または、管理業務室(6680/6681)までご連絡ください。

V23- **I**I

20			実験参加を	首	
業責任者往	業務従事者(注2,3)	氏 名	E-Mail 75"レス (注 4)	所属機関名	区 分(注5)
0	0	歌代 大兵	kadai@mailadd.ne.jp	都有大学	A·E·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
	0	羽井 真久	hai_mac@nirs.go.jp	重研機構	Ø·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
į	Δ	章華 沙	san@mail.add.ne.jp	都有大学	A·E·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
					A·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
					A·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
					A·B·C·D·E·F·
					A·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
					A·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L
					A·B·C·D·E·F· G·H·I·J·K·L A·B·C·D·E·F·
					G·H·I·J·K·L

- (注 1) 実際に作業に参加する人の中で、作業グループを代表する責任者を決めて、○を付けてください。課題代表者と違っても構いません。マシンタイム毎に違った作業責任者になる場合は、全ての作業責任者に○を付けてください。
- (注2) 量研機構千葉地区(以下、量研千葉)において「放射線業務従事者」の登録が終了している人に○を付けてください。
- (注3) これから、量研千葉において「放射線業務従事者」の登録を予定している人に△を付けてください。
- (注4) メールアドレスをお持ちの方は記入してください。
- (注5)量研機構において、該当する区分を下記より選び、アルファベットを〇で囲ってください。なお、どの区分に該当するかは、 量研機構からの辞令及び通知書により確認してください。

A:定年制職員・任期制職員	F: 客員協力研究員	K:指名研究員	
B:共同利用研究員	G:博士研究員	L: その他(	)
C: 客員研究員	H:招聘外国人研究員		
D:連携大学院生	I:学振外国人研究員		
E:実習生	J:大学院課程研究員		

※実験日までに、量研干郷において「放射線業務従事者」の登録をされていない方は、この実験参加者名傳に名前が定載されていましても実験に参加出来ません。

	項目	記入方法
(20	実験参加者	用紙内の注釈に従って記入